

# 選擇集の御詠歌

心にしめて 落着いて

松 濤 基 作曲

♩ = 40~50

*mf*

○ × ○ × ○ ○ ×  
[斉唱] み ほと け の ほ ん が ん

*mf*

○ ○ × ○ × ○ × ×  
ぐ ぜい を おろーが みー て

*mp* *mf* *f*

○ × ○ × ⊗ ⊗  
念 ぶーつ ねんぶーつ ねんぶついちずに

*rit.* *ff* *molto rit.*

⊗ ⊗ ○ × ○ × ○ ×  
生 きよ もーろ び と

## 選擇集の御詠歌

み仏の 本願<sup>ぐぜい</sup>弘誓を おろがみて 念仏<sup>いちず</sup>一途に 生きよ諸人

(浄土門主・総本山知恩院門跡第八十六世心誉上人中村康隆猊下御作)

『選擇本願念仏集』は、「往生のためには念仏が一番尊い行である」という内容を説かれたものです。お念仏は、だれでもいつでも出来る易しい行であり、またどの行よりも功德が<sup>まさ</sup>勝っており、仏の願いに合致する行です。その上、一声の念仏でも、み仏の無量の功德が備わっています。どんなに時代が悪くても、善根功德が積みなくても、お念仏は仏様の我が子と思うような大慈悲心がいよいよ働いて、必ずお救いいただける行です。尊く強く大いなる仏願力を頼み、念仏すれば、現在より未来世にいたるまで大利益をこうむります。その上、往生の本懷を遂げて、神通自在の徳を備え、清らかな法樂がいただけることが誓約されています。六方の諸仏は、念仏の尊い働きが真実であることを総出で誉め讃えられ、証明され、さらに念仏の行者を護ることを誓っておられます。このみ仏様が、選りすぐって下さった（選択）、阿弥陀仏の願いとお救いのお約束（本願）の大功德の行（念仏）で、仏教の究極が南無阿弥陀仏であることを明らかにされました。

**大意** 阿弥陀仏の大いなる仏願力を心からいただいて、念仏一途に共に力強く明るく尊く生かされて往きましょう。

### ポイント注意

- 普通で速度で、付点音符を急がずに。「念仏いちず」を頂点に、一語一語しっかり、最後の「もろびと」は力込めて一音一音ゆっくりと。